



塾生さん、いま何してる？

『それぞれの1年』



▼年が明けて、気付けばもう一ヶ月が過ぎようとしている中で、塾生の二人にもそれぞれに動きが見えてきています。

四月で塾生としての丸一年を迎える千龍さんは、木工ろくろの他にもルーター等の機械を使いながら、**成果展**に向けたオリジナル作品の準備を。四月からは一人の作り手として独立する前田さんは、**卒業展**に向けた商品の他に、独立後の自身の商品ラインナップを。それぞれに考え、製作を進めています。

はじめてばかりの作業をこなしながら、オケクラフトについてを学び、自分らしさを模索してきた一年生と、自身の好み把握した上で、どんなものが必要となるのか。広く視野を持ちながら卒業後の商品を考えてきた二年生では、同じ一年という時間でも、全く違う一年になったように思います。

いま、二人が取り組んでいる作品や商品は、今後皆さんにもご紹介していきますので、お楽しみに。

今月の一品

毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！

商品名：白樺の詩
サイズ：径 60～200mm 高さ 70～250mm
価格：1,600～13,000 円（税抜き）
樹種：シラカバ（置戸町産）



【郷土玩具① -イタヤキツネ-】ヤカエデの厚木を放射線状に6～8ッ割りにし、その断面を狐俗、人々の暮らしが表現された玩具のことを**郷土玩具**といいます。北海道から沖縄まで縦に長くのびる日本では、生活文化や慣習などに多くの違いがあらわれ、郷土玩具もまた、地域の特色が表現された多くの種類が製作されてきました。

今回紹介する**「イタヤキツネ」**は、秋田県角館町（現 仙北市）で生まれた郷土玩具です。イタ

秋田県仙北市では、江戸寛政の頃から農家の副業としてイタヤ細工が伝承され、「かご」や「つづら」が作られてきました。一方で材料の切れ端を使い玩具を作り、子供達に与えたとされています。イタヤキツネのほかに、イタヤ馬なども作られました。

今日は何を知ろうか



今月の一品は、工房くつろ木の**「白樺の詩シリーズ」**です。

白樺の木を伐採し丸太ごと横に切り、それをくり抜き、底板をはめ込んで樹皮が傷つかないように丁寧に仕上げた一品です。丸太の形状をそのまま生かしているのがサイズはいろいろです。樹皮と枝節が北海道の自然を表しているようです！

大きい物はお酒を冷やすクーラーに。また、お部屋に飾るオブジェとしてもいかがでしょうか。



ショップスタッフ
福井

モクモクさん 今月のモノづくりはなんですか？

お久しぶりのモクモクさんは特別編！
【**鉋 - カンナ -**】のあれこれについていろいろ知ってみよう！
まずは「**鉋の機能と構造**」のお話だよ



鉋は、木材を削って平面を出す道具だよ。**刃が一枚の一枚鉋、刃が二枚の二枚鉋**があって、それぞれに特徴があるんだ！

【一枚鉋】



◎切削抵抗が小さく
削り肌がきれい。
◎逆目ぼれが起きやすい。

【二枚鉋】



◎裏金を仕込むことで逆目ぼれを防ぐ。
◎刃の調整が必要。

【長台鉋 - ながだいかな -】



【台直し鉋 - だいなおしかんな -】



【鉋の機能と構造】

鉋は鉋刃と木製の鉋台から作られた、木材を削ると同時に表面を平らで滑らかに仕上げる道具です。木材を平らに仕上げるために、鉋台は平らになっています。また、鉋の刃は切れ味を良くするために、片刃の刃物が仕込まれていて、これを一枚鉋といいます。さらに裏金に加わった鉋を二枚鉋といいます。

鉋台は木材を削る**定規・定盤**であり、**「鉋は台で切れる」**と言われるほど重要なものです。そのため、鉋台には狂いや摩耗の少ないカシ材が使用されることが多く、使用前には台直し鉋や長台鉋などを使って、鉋台を平面に調整します。